

第 174 回 計測技術委員会議事録（案）

日 時 2022 年 5 月 20 日（金） 14:00～15:45

場 所 Zoom によるオンライン開催

出席者 委員 長 仲嶋（福山大）

副委員長 山田（産総研）

委 員 井上（三菱電機）、福本（佐賀大）、藤井（NICT）
布施（電中研）、古川（埼玉工大）、松村（日大）

顧 問 大谷（日大）

幹 事 作本（日大）、今池（日大）

幹事補佐 小平（日電検）、白井

資 料

174-1 第 140 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会資料

174-1-2 技術報告・研究会論文・論文誌論文テンプレート比較・改良案

174-2 2022 年度計測技術委員会活動計画

174-3 2022 年度計測研究会実施計画

174-4 2022 年度計測技術委員会活動状況

174-4-2 計測研究会プログラム（6 月 24 日開催分）

議 事

1 前回議事録の確認

- ・異議なく承認された。

2 運営委員会報告

仲嶋委員長より資料 174-1 及び 174-1-2 に基づき説明があった。

- ・研究会の今後の在り方について、既に決定された内容の説明があった。研究会参加費は、会員は引き続き無料、非会員は一般 4,000 円となる。2023 年 4 月から実施され、会員・非会員ともに Peatix を利用して参加申込を行うため、現地での参加費支払のやり取りはなくなる。

- ・研究会運営手引が改正され、2023 年 4 月より施行される。会場費等に係る経費については、1 日あたり 3 万円で変更はない。また、部門が異なる技術委員会との合同研究会では、参加費収入及び関連支出は、主催する技術委員会で等分することとなった。

- ・Peatix について、2022 年度は無料で利用できる。事務局がマニュアルを作成し、7 月頃に第 1 案を提示する予定。

- ・技術報告のテンプレートが改正される。内容は発行年月日の追記である。また、研究会論文のテンプレートについては、英語のフォントを論文誌に合わせる内容の改正で、当技術委員会からは意見無しで回答する。

- ・2022 年 9 月に開催される SICE センシングフォーラムへの協賛について、当技術委員会でメール審議を行い、了承を得ている。

・活動資金について、2021年度の報告書が未提出とのことで、委員長又は水野委員が対応する。2022年度の活動資金 33,411 円は役員会で承認済みである。

2 計測研究会（2022年11月）開催について

福本委員より、11月に開催される計測研究会及び見学会について説明があった。

・研究会は、11月25日に佐賀駅前のアバンセにおいてハイブリッド形式で開催する。また、見学会は、11月24日午後に佐賀大学海洋エネルギーセンターで開催する。佐賀大学から、車での移動を予定するが、参加人数によっては大学のバスの利用も検討する。

3 2022年度計測技術委員会活動計画、計測研究会実施計画及び活動状況

作本幹事より資料 174-2～174-4-2 に基づき説明があった。

・委員会は本日を含め4回開催し、次回委員会で2023年度の計画を審議する。

・A部門大会は9月13日～15日に種子島で開催するが、現時点で開催方法は決定していないようである。

・SICE センシングフォーラムは9月21日～22日に東京大学駒場キャンパスで開催する。なお、A部門大会は5月17日、センシングフォーラムは5月20日が応募締切りとなっている。

・11月の研究会は1日の開催、2月は2日間開催を予定するが、状況により変更する可能性がある。

・6月24日の研究会は4件で開催する。

・仲嶋委員長より、「新規調査専門委員会の設置について、例えば、カーボンニュートラルに関する計測で何か提案できるものがないか。興味のある分野・テーマがあれば提案をお願いしたい。」との依頼があった。

次回 2022年7月22日（金）14時～17時 場所 未定

IEEE 関係議事録

資 料

なし

議 事

- ・2022 年第 1 回 Chapter Meeting は 6 月 8 日に開催予定。
- ・2022 年度学生研究発表会は、12 月頃にオンラインでの開催を考えている。11 月の計測研究会でア
ナウンスを行いたい。2022 年度は山田 Chair が担当する予定。

以 上